

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 大田市立久屋小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	全校児童45名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ ）</p> <p>② 行事名（「ようこそイタリア空手ナショナルチーム」交流会）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・来日したイタリアの人を温かくお迎えし、楽しく活動に取り組んで、外国や日本の文化などへの関心をもつ。 ・オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、「スポーツをする・見る・支える・知る」活動につなげる。
5 取組内容	<p>迎えるための準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタリアや空手についての情報収集 ・校内掲示による啓発 ・プレゼントの準備（折り紙で作った風船、兜、手裏剣等） <p>交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空手の演武参観、基礎トレーニングの体験 ・校歌の披露、一緒にダンス、質問コーナー

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 訪問団の皆さんが、子どもたちが歌う校歌の歌声に感激されアンコールを要望されたり、一緒になってダンスで体を動かし踊ってくださったりして、子どもたちも大喜びだった。しばらくの間、学校ではイタリアや空手に関することがブームとなり、会話が弾んだ。イタリアという外国を身近に感じ、改めて日本と世界の文化に目を向けることができた。 訪問団の皆さんが、交流の過程でしきりにカメラで記念撮影を繰り返しながら、嬉しそうにしておられる姿に、子どもたちは自分たちの取組を誇りに感じているようだった。 折り紙で風船・兜・手裏剣等を作って贈ったことに、訪問団の皆さんがとても喜んでくださった様子から、古くから伝わる日本の良さに気づき、相手に喜ばれるとこちらも嬉しくなるという「おもてなし」の価値を味わったようである。 東京オリンピックの出場を目指して練習に励んでいる選手団の様子を肌で感じ、子どもたちは、努力を継続していくことや自分から積極的に挑戦していくことの大切さを学ぶことができた。 東京2020に向け、オリンピック・パラリンピックにかかわる学校図書館の書籍や新聞記事等への関心も高まった。 日本の武道である空手を海外のトップアスリートから学ぶという点でも興味深く、今回の様子を子どもたちが家庭で話したり、学校だよりで発信したりしたことで、保護者へのスポーツや国際交流の啓発にもなった。 <div style="text-align: center;">  <p>【1年生の感想画】</p> </div>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> そもそものきっかけは、大田市にオリンピック事前キャンプ地として選手団を招待し、いくつかの学校を訪問する取組を計画した民間団体の活動と、本校が求めているものが合致する形で実現した。 今回、イタリアについて事前に調べ全校体制で「おもてなし」を大切にすることを心掛けた。選手団の帰国後も関係者に反響が大きかった学校の様子を知らせた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国の訪問団が来校する機会は決して多くはない。様々な関係機関と連携し、貴重な機会を生かせるように調整していくことが必要である。 現在、東京オリンピック・パラリンピックを目前にして社会全体の機運の高まりが後押ししている感があるが、来年度東京オリンピック・パラリンピックが終了した後でもあっても、このような交流の機会が継続できるよう工夫していくことが大切である。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回の訪問団が同じ形で来年度来日する可能性は低いですが、代表者等の来日の見込みがある。今年度の取組をきっかけに、一層の交流が深められたら、と考えている。